

メイドイン秋田を世界へ

「面白くなくては
ものづくりではない!」
と鈴木勇太社長[有限会社 勇和工業 | <http://inagi.yuuwa-shaft.jp>]

本社営業所 〒206-0812 東京都稲城市矢野口 1212-1 2F TEL.042-377-3356 FAX.042-378-3888
 秋田工場 〒019-2331 秋田県大仙市大巻字宅地 36-1 TEL.0187-87-5622 FAX.0187-77-2605
 E-mail: inagi@yuuwa-shaft.jp



製品に自信があるから
価格ではなく、品質で勝負する

小さな工場で作られる、高度な精密部品

大仙市大巻(旧西仙北町)に工場を構える「勇和工業」。工場で作られているのは、産業ロボットや医療機器などの精密機械に使われる、小さな小さな部品だ。髪の毛ほどの細さのマイクロシャフト、直径数ミリのクロスローラーなど、小さな製品に特化した製造技術を誇る。主力のクロスローラーは、工場の生産ラインで使われる産業ロボットの駆動部分に使われ、ナノレベルの厳格な公差(誤差の許容範囲)が求められる。勇和工業が実現する高品質は、海外からも認められ、現在では、取引先の半分以上を香港、台湾、韓国など海外のメーカーが占める。

リーマンショックからの再起をかけて

もともと、東京都稲城市に工場を構えていた同社が秋田に工場を移転したのは2009年のことだった。製造業へのリーマンショックの影響は大きく、業績が急激に悪化。東京での工場経営が立ち行かなくなり、当時の鈴木敬三社長(現・会長)は夫人の出身地である秋田への移転を決意し

た。オーストラリア在住だった敬三氏の息子 勇太氏も、経営を手伝うために帰国。スタッフを現地採用し、新たな製品での再起を目指した。しかし、当時の経営状況では、設備投資に協力してくれる金融機関は皆無。そんな中、当センターに提出した計画書が評価され、設備貸与制度を利用して測定器を導入。これにより、より厳しい公差を要求する顧客との取引が可能となり、勇太氏が単身で海外メーカーへ営業、販路を拡大してきた。

今年4月、社長に就任した勇太氏。「スタッフが心を込めて作った製品だから、価格で勝負するのではなく、品質を理解してもらえるお客さまに買ってほしい。そして、Made in Akitaの製品を発信することで、いつか秋田に恩返しをしたい」と熱く語った。



A 製造中のクロスローラー
 B 完成品のクロスローラー
 C “No Fun No Manufacture”
 制服に書かれた言葉は、勇太社長の座右の銘。

事業概要 設備貸与制度

県内小規模企業者・中小企業者が導入を希望される機械設備を当センターが購入し、割賦販売またはリースする制度です。

お問い合わせ あきた企業活性化センター/設備・研究推進課
 (018-860-5702)まで。